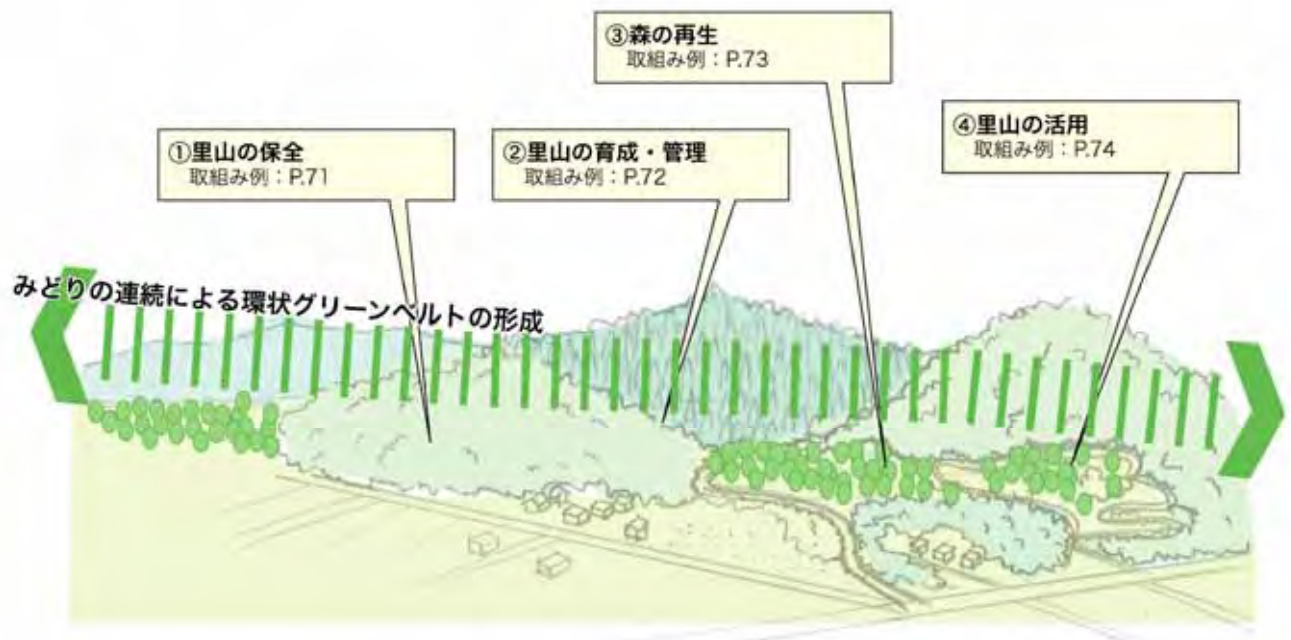


里山での活動の取組み

< 里山でのみどりづくりのあり方 >

市街地をとりまく里山のみどりは、都市環境を形成する貴重な樹林の一部であることから、生物の生息移動空間として育成・管理に努め、みどりとふれあう活動の場として活用し、札幌らしい良好な都市景観・都市環境の維持向上を目指しましょう。

里山の保全 里山の保全	P71	関連する主なプログラム
里山の育成・管理 里山の育成・管理 森の再生	P72	関連する主なプログラム
里山の活用 里山の活用	P74	関連する主なプログラム



里山では、行政による公有林の保全のほか、制度に基づいた民有林の保全を進めましょう。また、都市環境林などを拠点とした市民、活動団体による里山の保全活動を積極的に進めましょう。

各担い手の役割	市民 企業	・市民、企業は、所有する民有林が、都市環境を形成する貴重な樹林の一部であることを認識し、制度に基づいた保全に努めましょう。
	活動団体	・活動団体は、行政や専門機関との連携のもと、それぞれの目的に応じ、里山保全のための動植物調査など、自主的な保全活動を展開しましょう。
	行政	・行政は、貴重な樹林の公有化や各種制度の運用により里山の保全に取り組むほか、活動団体などによる里山の保全活動に資材提供などの支援を行うとともに、関係機関の調整を行います。
	大学・専門	・大学など専門機関は、里山の保全に向けた技術支援を行いましょ。

里山の保全

制度に基づいた保全が図られている里山の例

市街地に近い里山は、都市環境林取得整備事業などの運用により保全を進めています。



活動団体による里山保全に向けた動植物調査の例

活動団体による昆虫調査や植物調査が行われています。

< 昆虫調査（真駒内） >



< 植物調査（西岡公園） >



制度・支援メニュー

ボランティア	・ <みどりのボランティア> 森林ボランティア制度・・・・・・・・・・ P.79
みどりを守る	・ 風致地区制度・・・・・・・・・・ P.83
みどりを守る	・ 緑保全創出地域制度・・・・・・・・・・ P.83

里山での環状グリーンベルト形成に向けて、既存のみどりの育成・管理を推し進めるほか、公有地や未利用地を活用し、市街地を取りまくみどり豊かな景観づくりや生物の生息・移動空間の確保、低炭素社会に向けた新たな森づくりに取り組みましょう。

各担い手の役割	市民	・市民は、行政や活動団体が企画する植樹祭などの活動に参加するほか、植樹のための基金への寄付や、森林ボランティアに登録するなど、積極的に里山の育成・管理活動に参加しましょう。
	活動団体	・活動団体は、行政との連携のもと、それぞれの目的に応じ、里山の育成・管理やそのための更新木苗木の育成など、自主的な育成・管理および森づくり活動を展開しましょう。
	企業	・企業は、里山の育成・管理に向けた森づくり活動に積極的に参加するほか、カーボンオフセットやネーミングライツによる森づくり活動、企業 CSR 活動としての資材や人材の提供などを行いましょう。
	行政	・行政は、制度の運用や市有林の育成・管理を進めるほか、森づくりのための植樹祭などを企画するなど、里山の育成・管理に向けた土地の確保や提供、資材の提供などを行い、関係者や関係機関との調整・コーディネートを行います。
	大学・専門	・大学など専門機関は、里山の育成・管理に向けた技術支援や、植樹技術・森づくりの意義について研究・開発・普及に努めましょう。

里山の育成・管理

森林ボランティアによる里山の育成・管理活動例

樹木の適正な生育を促すため、間伐や枝うちを行っています。また、林床にさまざまな野草が生えてくるように、ササ刈りなどの作業を行っています。

< 間伐および枝うち作業 >



< 林床部の管理 >



制度・支援メニュー

ボランティア ・ <みどりのボランティア> 森林ボランティア制度・・・・・・・・・・ P.79

活動団体による苗木管理の例

里山の育成・管理に向けて、苗木を育てています。

< 苗木管理 >



森の再生

森の再生の取組み事例

植樹活動によって森の再生への取組みがすすめられています。

< 植樹活動（東部緑地） >



< 新たにつくられた森（東部緑地） >



< 植樹活動 >



【カーボンオフセットとは】

直接的な施策によって削減できないCO₂（カーボン）を、森林吸収源を守る植林やクリーンエネルギーなどの事業に投資することなどにより、排出した分を相殺（オフセット）するしくみのこと。

【ネーミングライツとは】

主にスタジアムやアリーナなどのスポーツ施設に、スポンサー企業の社名やブランド名を施設名称として付与する権利で、「命名権」とも呼ばれる。

制度・支援メニュー

ボランティア ・ <みどりのボランティア> 森林ボランティア制度・・・・・・・・・・・・・・・・P.79

里山を、みどりとふれあうフィールドとして活用し、みどりの大切さを学びながら地球環境の保全や生物多様性の保全、低炭素社会の取組みに向けた市民意識の醸成を図るほか、みどり資源の有効利用にも取り組ましましょう。

各担い手の役割	市民	・市民は、活動団体や行政、企業が企画する里山活動やイベントに参加するなど、積極的に自然にふれあい楽しみながら里山が持つ機能について理解を深めましょう。
	活動団体	・活動団体は、行政との連携のもと、それぞれの目的に応じ、自然とのふれあい活動や環境教育、みどりのリサイクル活動など、自主的な里山活用活動を展開しましょう。
	企業	・企業は、里山を活用した観光イベントの開催や地材地消の取組みを進めましょう。
	行政	・行政は、市有林の活用を進めるほか、市民活動のための場や機会、資材の提供、関係者や関係機関との調整・コーディネートを行います。また、木質系バイオマス燃料など、森林資源の循環利用のしくみづくりを進めます。
	大学・専門	・大学など専門機関は、里山の活用に向けた技術支援を行いましょう。

里山の活用

里山でのイベント例

森林ボランティアや行政による森と親しむイベントに多くの市民が参加しています。

<きのご観察会（藻岩山）>



<観察会（札幌ふれあいの森）>



<間伐体験（旭山都市環境林）>



間伐材の活用例

間伐材を活用して、きのごづくりや、木工体験などを行っています。

<間伐材を活用したきのごづくり>



<木工クラフト体験（札幌ふれあいの森）>



【ペレットストーブの燃料として活用】



間伐材などの木を材料としたペレット燃料の生産と活用。

制度・支援メニュー

ボランティア ・ <みどりのボランティア> 森林ボランティア制度・・・・・・・・・・ P.79